

1. 平成19年産大豆入札取引の概況

(1) 取引参加者登録状況（表1-1-1）

売り手登録者は、前年産と同じく全農、全集連の2者であった。

買い手登録者は、法人、個人合わせて180者で前年産の184者からやや減少した。

また、同一の法人で本社、支社等がそれぞれ参加する場合にそれぞれを1とした事業所数ベースの登録者数は、187者で前年産の192者から5者減少した。

（以下、入札者数等は、事業所ベースによる。）

表1-1-1 平成19年産大豆入札取引登録者数

区分	平成19年産	前年産
売り手登録者	2	2
買い手登録者 (事業所数)	187	192
事業体数	180	184
うち新規	2	7
うち継続	178	177

注1. 買い手登録者数(事業所数)は、同一企業で複数の事業所(本店、支店等)を登録した場合、それぞれを1と数えた数である。

注2. 継続には、会社組織が変更になる等で新規の組織が以前の組織から業務を承継した場合を含む。

(2) 入札取引開催状況と入札参加状況

平成19年11月28日の第1回から平成20年8月6日の第18回までの計18回の開催であった。月別には11月1回、12月以降7月まで各月2回、8月は1回開催した。(表1-1-2)

各回の入札者数(図1-1-1)は、第8回(3月12日)の100者が最も多く、第1回(11月28日)の33者が最も少なかった。全期間を通じて入札者数が平成18年産を上回る場合が多かった。

入札回数別買い手登録者の分布(表1-1-3)をみると、前年産に比較して入札回数11回以上の割合が高くなり、一度も入札しなかった買い手登録者は、44者(前年産47者)であった。

表 1－1－2 平成19年産大豆入札取引開催状況

入札回	入札日	上場者 者	入札者 者	ロット数		
				上場	入札	入札/上場
第1回	平成19年11月28日	1	33	54	123	2.3
11月計				54	123	2.3
第2回	12月12日	2	48	165	331	2.0
第3回	12月26日	2	63	260	461	1.8
12月計				425	792	1.9
第4回	平成20年1月16日	2	91	451	926	2.1
第5回	1月30日	2	87	606	920	1.5
1月計				1,057	1,846	1.7
第6回	2月13日	2	93	651	944	1.5
第7回	2月27日	2	84	608	933	1.5
2月計				1,259	1,877	1.5
第8回	3月12日	2	100	668	1,106	1.7
第9回	3月26日	2	86	657	900	1.4
3月計				1,325	2,006	1.5
第10回	4月9日	2	92	660	855	1.3
第11回	4月23日	2	79	656	714	1.1
4月計				1,316	1,569	1.2
第12回	5月14日	2	82	685	731	1.1
第13回	5月28日	2	75	665	647	1.0
5月計				1,350	1,378	1.0
第14回	6月11日	2	67	585	696	1.2
第15回	6月25日	2	70	592	851	1.4
6月計				1,177	1,547	1.3
第16回	7月9日	2	71	464	1,065	2.3
第17回	7月23日	2	71	341	859	2.5
7月計				805	1,924	2.4
第18回	8月6日	1	54	224	501	2.2
8月計				224	501	2.2
19年産累計				8,992	13,563	1.5
18年産累計				8,715	7,831	0.9
17年産累計				7,474	10,846	1.5

図 1-1-1 入札回別入札者数（前年産比較）

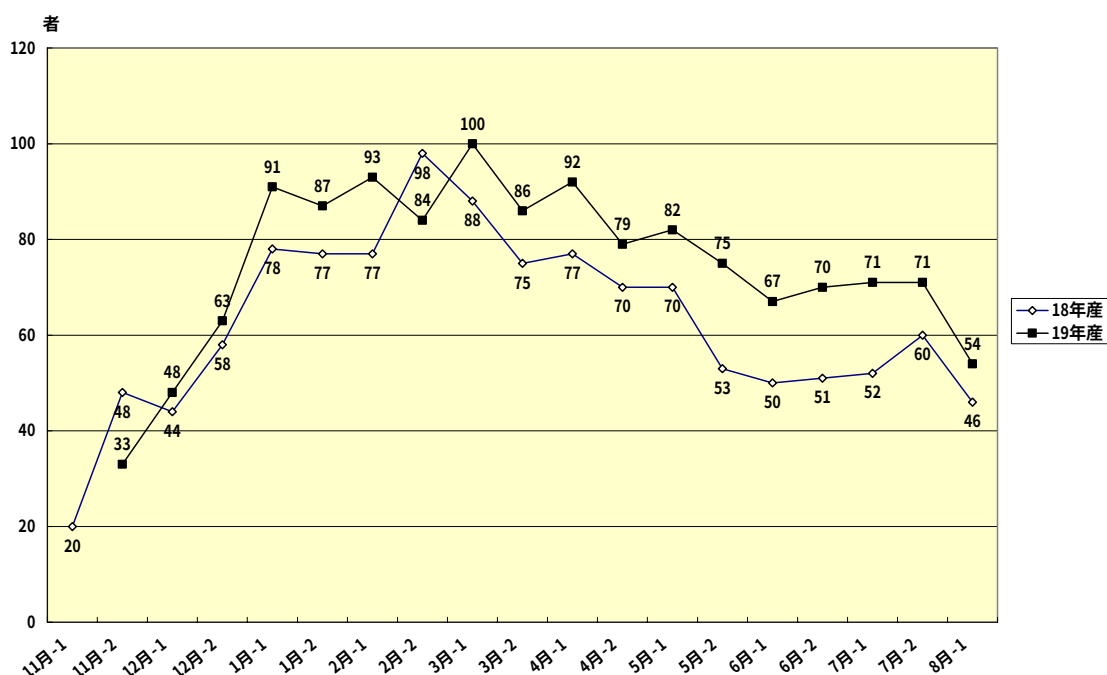


表 1-1-3 入札回数別買い手数(前年産比較)

区分	平成18年産	平成19年産	割合	
			平成18年産	平成19年産
買い手登録者数	192	187	100.0%	100.0%
0回	47	44	24.5%	23.5%
1～5回	53	44	27.6%	23.5%
6～10回	39	34	20.3%	18.2%
11回以上	53	65	27.6%	34.8%

(3) 国産大豆の需給と入札取引数量

平成19年産大豆の生産は、主に北海道において作付面積が減少したことにより、全国で4千ヘクタール弱減少し、作柄は、概ね前年並みであったことから、収穫量は、前年産に比べやや減の227千トンとなった。（表1-1-4）

全農、全集連の集荷数量は11千トン増の174千トンとなり、そのうち、入札取引により販売された数量は、25千トン増の59千トンとなった。

売り手の販売数量（＝集荷数量）を入札取引、相対取引、契約栽培取引の3種類の販売方法別数量に区分してみると、入札取引による販売数量が平成17年産、18年産と連続して3割を下回ったが、19年産では、価格形成上望ましいとする目標の1/3以上を達成することができた。（図1-1-2，表1-1-6）

業務規程において、売り手毎の販売予定数量の総量と販売予定数量が500トン以上の産地品種銘柄（粒区分で産地品種銘柄に該当しない数量を含む。）について1/3以上が入札取引によって販売することが求められているが、その状況をみたのが表1-1-7である。

北海道産の大粒、中粒銘柄には、目標を下回るものがみられるが、そのほかの銘柄では、目標を達成できたものが多い。(なお、宮城県産きぬさやかは、販売予定数量500トン以上の銘柄であるが、本品種を加工食品の原料として使用するには特許権保有者の許諾が必要であることから、入札取引にそぐわない銘柄とされたものである。)

表1-1-4 平成19年産大豆生産概況

	18年産	19年産	対前年増減
作付け面積 (ha)			
全国	142,100	138,300	-3,800
北海道	28,100	22,700	-5,400
都府県	114,000	115,600	1,600
収穫量(t)			
全国	229,200	226,700	-2,500
北海道	70,100	53,600	-16,500
都府県	159,100	173,100	14,000
単収(kg/10a)			
全国	161	164	3
北海道	249	236	-13
都府県	140	150	10

資料：農林水産省作物統計

表1-1-5 国産大豆需給の推移

事項	(単位)	平成15年産	平成16年産	平成17年産	平成18年産	平成19年産	増減
作付面積	ha	151,900	136,800	134,000	142,100	138,300	-3,800
①収穫量	トン	232,200	163,200	225,000	229,200	226,700	-2,500
②検査数量	トン	155,467	105,566	156,240	172,780	184,649	11,869
普通・特定加工用②a	トン	154,432	105,006	155,010	171,762	183,170	11,408
種子用	トン	1,034	560	1,231	1,017	1,480	463
①-②		76,733	57,634	68,760	56,420	42,051	-14,369
③集荷数量	トン	148,822	97,637	143,679	163,019	173,829	10,810
②a-③	トン	5,611	7,370	11,331	8,743	9,341	598
④入札販売数量	トン	60,936	34,772	37,752	34,407	58,879	24,472
③-④	トン	87,886	62,865	105,927	128,612	114,950	-13,662
④/③入札販売数量割合	%	40.9%	35.6%	26.3%	21.1%	33.9%	+12.8ポイント

注④の入札販売数量は、落札結果に基づいて売り手が最終的に売り渡した数量であり、落札数量と一致しない場合がある。

資料：農林水産省作物統計、農林水産省総合食料局大豆検査結果

図 1-1-2 販売方法別販売数量の推移

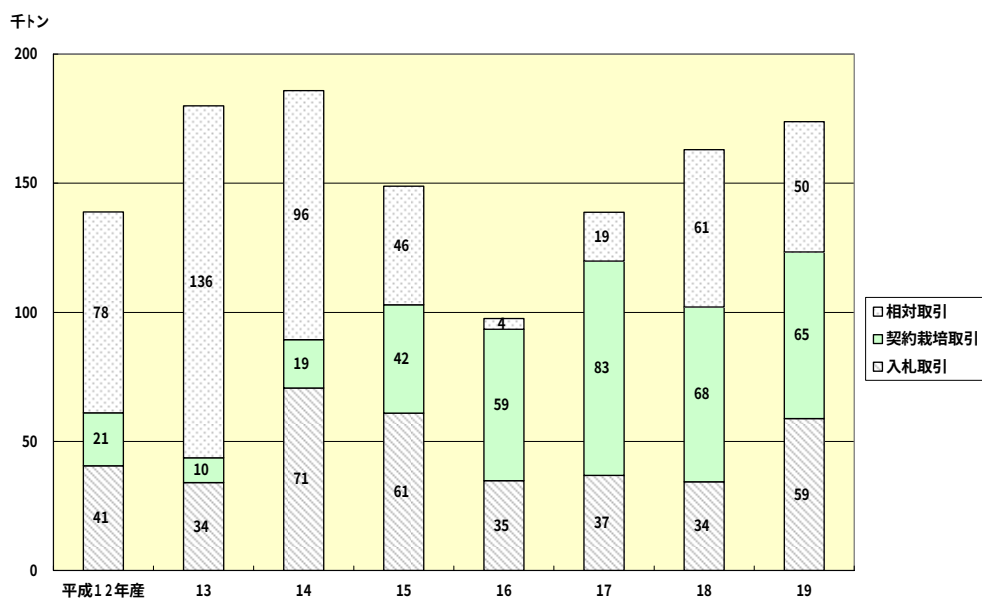


表 1-1-6

年産	数量 (トン)			割合 (%)		
	入札取引	相対取引	契約栽培取引	入札取引	相対取引	契約栽培取引
平成12年	40,563	77,768	20,541	29.2%	56.0%	14.8%
13	34,051	136,313	9,624	18.9%	75.7%	5.3%
14	70,637	96,458	18,767	38.0%	51.9%	10.1%
15	60,936	45,893	41,993	40.9%	30.8%	28.2%
16	34,772	4,164	58,701	35.6%	4.3%	60.1%
17	36,866	18,835	83,034	26.6%	13.6%	59.9%
18	34,407	60,983	67,629	21.1%	37.4%	41.5%
19	58,879	50,410	64,540	33.9%	29.0%	37.1%

表 1－1－7 売り手別産地品種銘柄別販売実績

県名	銘柄	販売数量(トン)			うち入札販売数量(トン)			販売数量に対する入札販売数量の割合		
		全農	全集連	計	全農	全集連	計	全農	全集連	計
売り手毎500トン以上銘柄										
北海道	つるの子	711		711	79		79	11.1%		11.1%
	ツルムスメ	1,382		1,382	141		141	10.2%		10.2%
	音更大袖振	1,826		1,826	663		663	36.3%		36.3%
	とよまさり	30,422	2,735	33,157	5,495	971	6,465	18.1%	35.5%	19.5%
	スズマル	4,515		4,515	1,515		1,515	33.6%		33.6%
	ユキシズカ	501		501	228		228	45.5%		45.5%
	秋田	1,502		1,502	297		297	19.8%		19.8%
青森	おおすず	4,535		4,535	1,918		1,918	42.3%		42.3%
岩手	スズカリ	578		578	229		229	39.7%		39.7%
	ナンブシロメ	1,116		1,116	443		443	39.7%		39.7%
宮城	ミヤギシロメ	4,866		4,866	2,096		2,096	43.1%		43.1%
	タンレイ	4,771		4,771	1,671		1,671	35.0%		35.0%
	タチナガハ	2,272		2,272	888		888	39.1%		39.1%
	あやこがね	780		780	411		411	52.7%		52.7%
	きぬさやか	586		586	0		0	0.0%		0.0%
秋田	リュウホウ	7,136		7,136	3,152		3,152	44.2%		44.2%
	すずさやか	1,067		1,067	724		724	67.9%		67.9%
山形	エンレイ	3,464		3,464	1,293		1,293	37.3%		37.3%
	タチユタカ	937		937	301		301	32.1%		32.1%
	リュウホウ	1,443		1,443	671		671	46.5%		46.5%
福島	タチナガハ	827		827	307		307	37.1%		37.1%
茨城	タチナガハ	2,288		2,288	810		810	35.4%		35.4%
	納豆小粒	1,420		1,420	486		486	34.2%		34.2%
栃木	タチナガハ	6,506		6,506	2,134		2,134	32.8%		32.8%
長野	ナカセンナリ	1,274		1,274	475		475	37.3%		37.3%
新潟	エンレイ	7,075		7,075	2,796		2,796	39.5%		39.5%
富山	エンレイ	5,854		5,854	2,878		2,878	49.2%		49.2%
	オオツル	664		664	218		218	32.8%		32.8%
石川	エンレイ	832		832	525		525	63.1%		63.1%
福井	エンレイ	912		912	420		420	46.1%		46.1%
岐阜	フクユタカ	2,999		2,999	1,961		1,961	65.4%		65.4%
愛知	フクユタカ	6,687		6,687	3,574		3,574	53.4%		53.4%
三重	フクユタカ	3,970		3,970	2,307		2,307	58.1%		58.1%
滋賀	オオツル	1,767		1,767	417		417	23.6%		23.6%
	タマホマレ	426		426	269		269	63.1%		63.1%
	フクユタカ	2,387		2,387	867		867	36.3%		36.3%
鳥取	サチユタカ	598		598	215		215	36.0%		36.0%
福岡	フクユタカ	13,836		13,836	4,454		4,454	32.2%		32.2%
佐賀	フクユタカ	14,636		14,636	4,340		4,340	29.7%		29.7%
	むらゆたか	2,729		2,729	836		836	30.6%		30.6%
長崎	フクユタカ	604		604	206		206	34.2%		34.2%
熊本	フクユタカ	3,818		3,818	1,271		1,271	33.3%		33.3%
大分	フクユタカ	471		471	282		282	59.9%		59.9%
	むらゆたか	858		858	328		328	38.2%		38.2%
	計	157,843	2,735	160,578	54,590	971	55,560	34.6%	35.5%	34.6%
その他		11,052	2,199	13,251	3,165	154	3,319	28.6%	7.0%	25.0%
合 計		168,895	4,934	173,829	57,755	1,124	58,879	34.2%	22.8%	33.9%

(4) 入札・落札状況

上場・入札ロット数の比較で入札状況をみると、ほぼ全期間を通じて入札ロット数が上場ロット数を上回る状況で推移した。

落札結果をみると、落札下限価格（前年産までは予定価格と表記）未達による不落札が少なく、競争の結果による不落札が多い状況で推移した。（図１－１－３、４）

図１－１－３ 入札回別上場・入札・落札ロット数推移

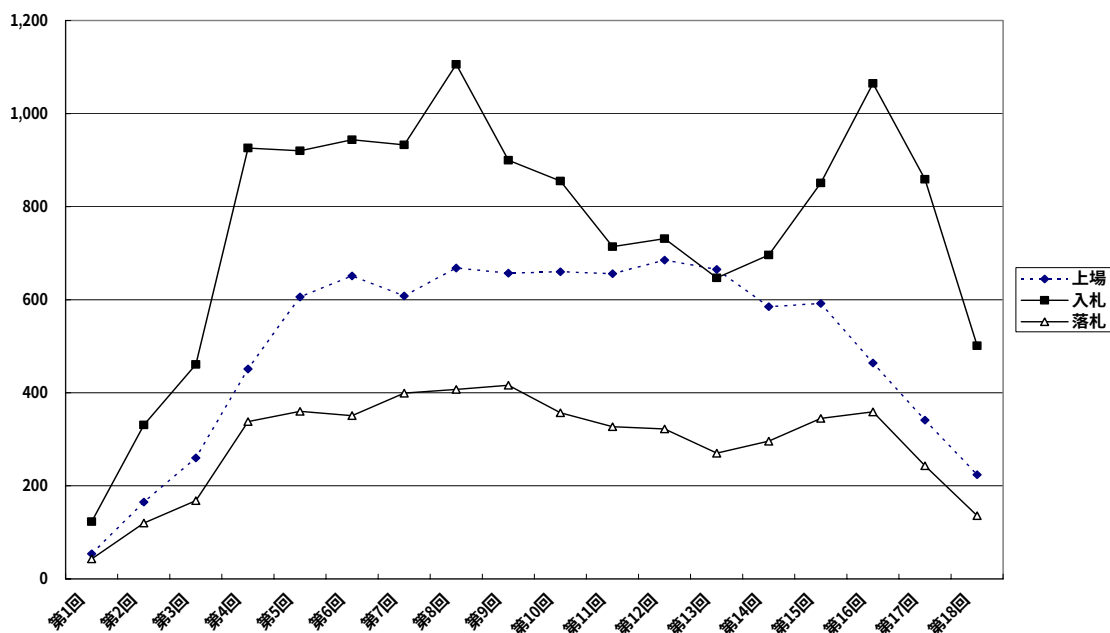
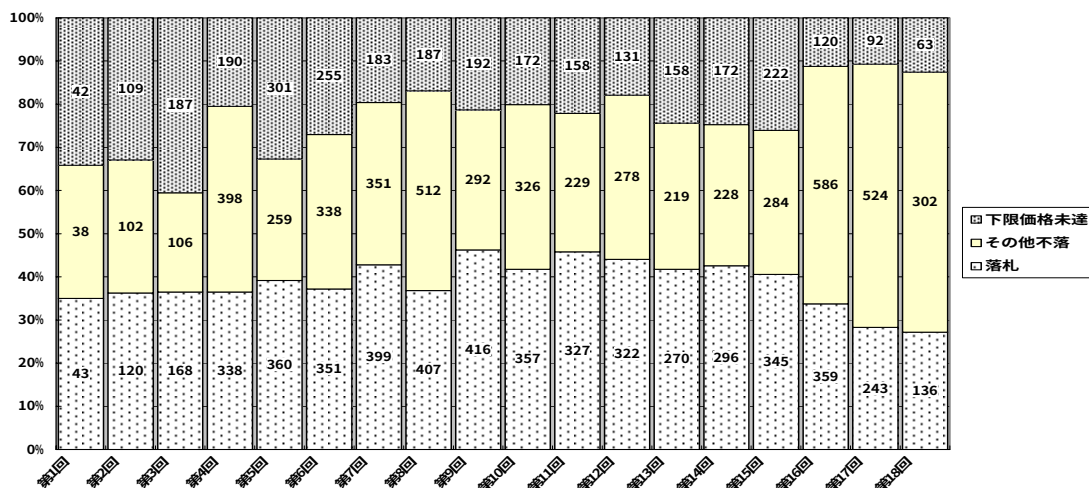


図１－１－４ 落札結果別ロット数分布



注．各回の買い手入札ロットの計を１００とした場合のロット数割合

数値は、各区分のロット数

下限価格は落札下限価格をいう。

月ごとの落札状況は、表１－１－８のとおりである。

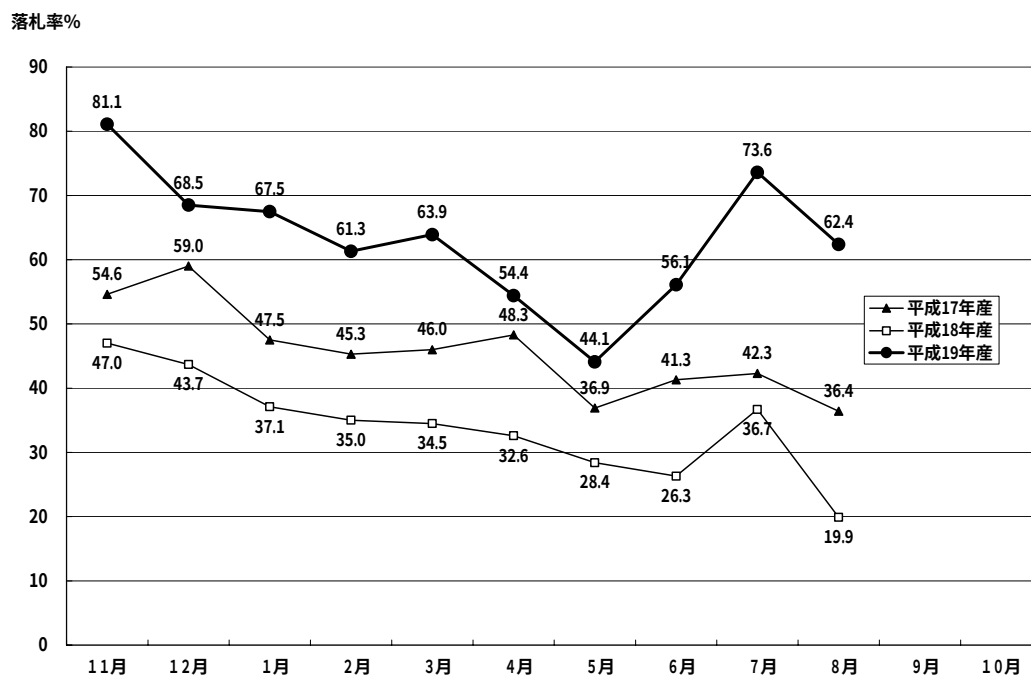
表１－１－８ 月別上場・落札数量・平均落札価格・落札率

入札回	上場数量 トン	落札数量 トン	落札価格 円/60kg	落札率 %
11月計	575	466	7,712	81.1
12月計	4,730	3,239	7,757	68.5
1月計	12,031	8,118	7,267	67.5
2月計	13,844	8,481	7,073	61.3
3月計	14,802	9,455	7,448	63.9
4月計	14,676	7,986	7,588	54.4
5月計	14,446	6,377	7,920	44.1
6月計	12,455	6,987	7,311	56.1
7月計	8,473	6,240	6,877	73.6
8月計	2,454	1,530	6,792	62.4
19年産累計	98,486	58,880	7,364	59.8
(18年産累計)	102,844	34,418	6,835	33.5
(17年産累計)	83,340	37,752	6,931	45.3

注．普通大豆・特定加工用大豆合計及びその加重平均落札価格である。

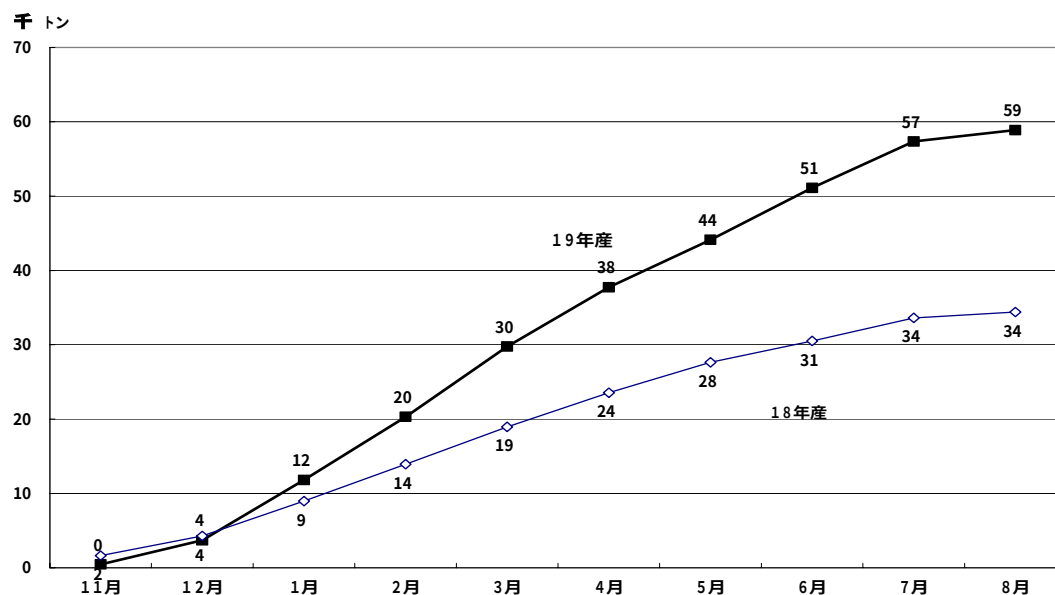
上場数量に対する落札数量の割合（落札率）を月別にみると、最高が11月の81.1%、最低が5月の44.1%であったが、各月とも17年産、18年産に比べて高かった。（図１－１－５）

図１－１－５ 月別落札率の推移（年産比較）



各月までの落札数量の累積をみると、1月以降前年を大きく上回って推移した。（図１－１－６）

図 1-1-6 月別累積落札数量の推移（前年産比較）



取引数量を北海道と都府県に分けてみると（表 1-1-9）、作付面積の減少から集荷数量が減少した北海道は、入札販売数量も減少し、入札販売数量の北海道のシェアは、36%から 16%に大幅に下がった。

表 1-1-9 北海道・府県別入札取引数量（前年産比較）

単位: トン、%

年産	18年産			19年産			対前年差		
区分	全国	北海道	府県	全国	北海道	府県	全国	北海道	府県
集荷数量	163,019	56,164	106,855	173,829	44,973	128,857	-10,810	11,191	-22,002
入札販売数量	34,407	12,349	22,058	58,879	9,665	49,214	-24,472	2,684	-27,157
入札取引シェア	21.1%	22.0%	20.6%	33.9%	21.5%	38.2%	13	-1	18
地域シェア									
集荷数量	100.0%	34.5%	65.5%	100.0%	25.9%	74.1%	-	-	-
入札販売数量	100.0%	35.9%	64.1%	100.0%	16.4%	83.6%	-	-	-

（5） 落札価格

1俵（60kg）当たり年産平均落札価格（普通大豆）は、前年産（6,937円）から上昇し、7,492円であった。（表 1-1-10）

表 1－1－10 月別平均落札価格（普通大豆・13～19年産）

単位：円/60kg

年産	15年産	16	17	18	19
11月	8,352	13,150	8,337	8,183	8,691
12月	9,622	13,771	7,602	7,697	7,957
1月	8,386	15,064	7,143	7,355	7,366
2月	9,661	17,679	6,960	7,048	7,144
3月	11,952	19,571	6,934	6,981	7,542
4月	13,638	18,872	6,826	6,730	7,764
5月	13,124	16,794	6,816	6,682	8,146
6月	11,899	13,257	7,395	6,594	7,490
7月	9,318		7,410	5,914	6,891
8月			6,308	6,236	6,899
9月					
10月					
年産平均	9,776	16,250	7,078	6,937	7,492

月別の平均落札価格の推移を見ると、平成17、18年産と同様に11月から緩やかに低下する傾向が見られたが、3月から5月までわずかに上昇に転じ、その後再び低下した。

これは、この時期に納豆用に使われる小粒、極小粒銘柄が上場され、入札が多く、高値で落札されたためであり、当該銘柄の上場がなくなった7、8月には再び下落したものである。（図1－1－7）

図1－1－8は、そのことを示すものである。

図 1－1－7 月別平均落札価格の推移（普通大豆・年産比較）

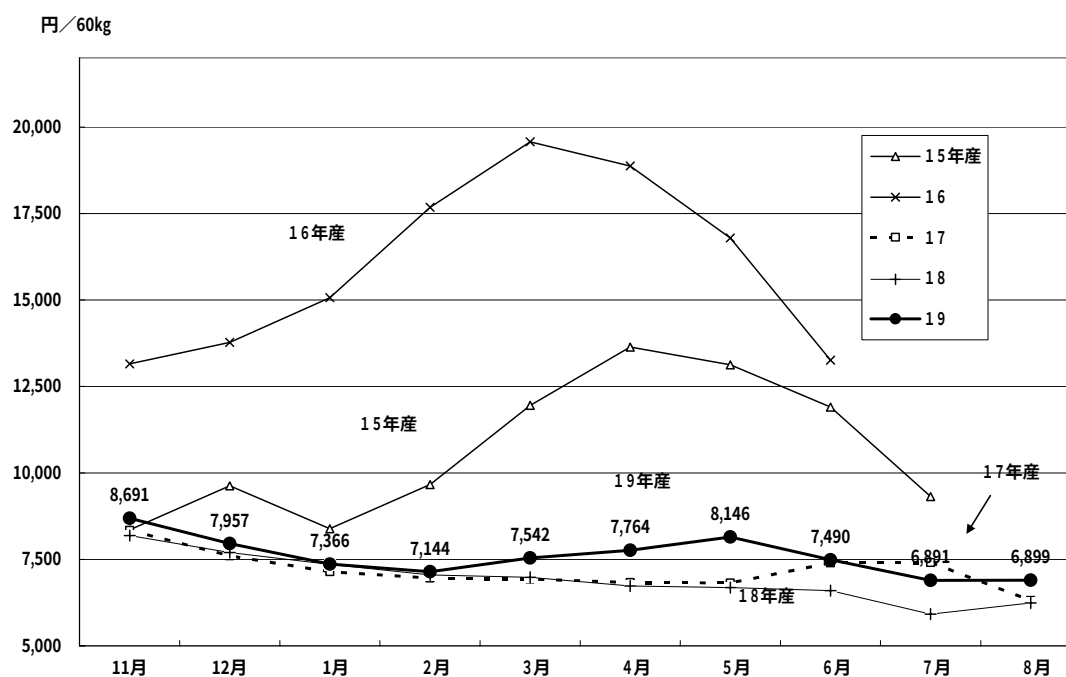
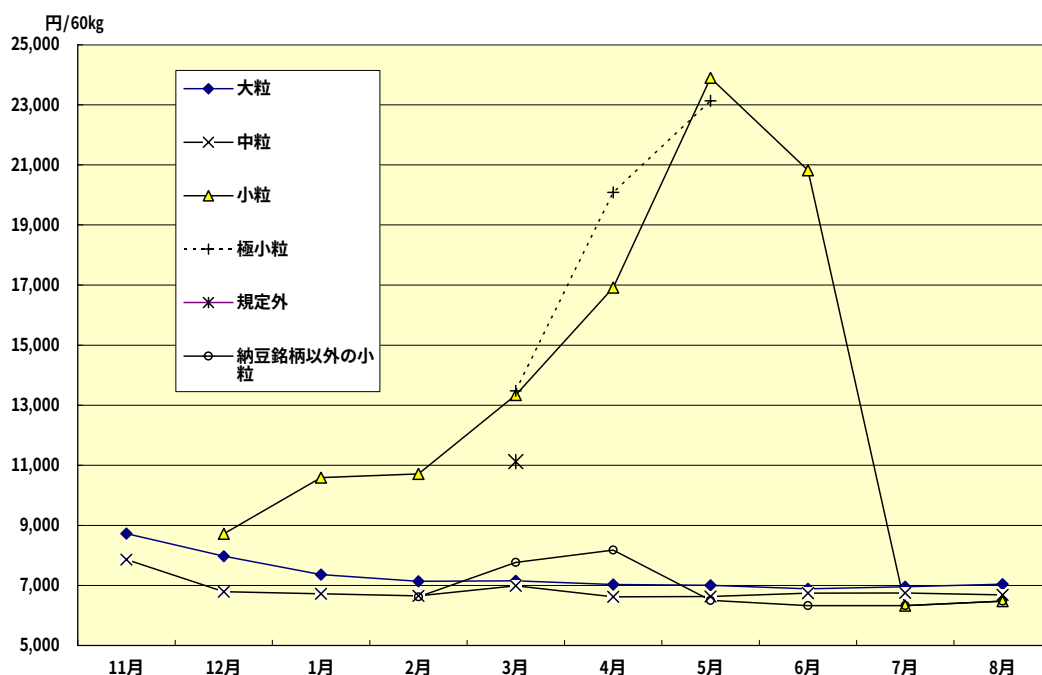


図 1－1－8 粒区分別平均落札価格（普通大豆）の推移



注．小粒には、小粒・極小粒銘柄（納豆用銘柄）の小粒の他、大粒・中粒銘柄の品種で粒区分で小粒に該当したものを含み、「納豆用銘柄以外の小粒」は、これらを別に集計したものである。

「規定外」は、小粒・極小粒銘柄の品種で、粒区分で銘柄に該当しないものである。

主要な産地品種銘柄の落札価格をみると、北海道産の銘柄は、前年に比べてかなり下落した。府県産は、わずかに前年を上回るものが多かった。納豆用銘柄として知られる茨城納豆小粒は、前年産をかなり上回る価格となった。

（表 1－1－11）

落札価格の月別の推移をみると、緩やかな下降線を辿る銘柄が多かったが、茨城納豆小粒は、上場された2月から6月までの間、上昇傾向で推移した。また、北海道とよまさりについても終盤に上昇に転じる動きが見られた。（図 1－1－9～13）

主要な産地品種銘柄について、年産平均落札価格をみると、全体としては、作付面積が減少した北海道は、前年産を上回り、平成18年産で台風の被害を受け、19年産は作柄の良かった九州では、前年産を下回る様子が見られるものの、全体的には大きい動きはなかった。なお、納豆用の銘柄である北海道スズマル、ユキシズカ、茨城納豆小粒が価格を大幅に上げた。

また、みそ用として評価の高い銘柄である長野ナカセンナリも値を上げている。

（表 1－1－11）

表 1-1-11 主要産地品種銘柄の落札価格（普通大豆・前年産比較）

産地	粒別	品種銘柄	落札価格 (円/60kg)			落札数量 (トン)
			18年産	19年産	前年差	
北海道	大粒	とよまさり	7,624	8,313	689	5,198
	大粒	音更大袖振	5,774	7,334	1,560	663
	中粒	秋田	6,553	7,319	767	297
	中粒	ハヤヒカリ	6,251	6,559	308	267
	小粒	スズマル	6,189	17,777	11,588	1,515
青森	小粒	ユキシズカ	6,209	9,672	3,463	228
	大粒	おおすず	6,986	6,672	-314	1,610
	大粒	スズカリ	6,847	7,006	159	81
	中粒	スズカリ	6,815	6,881	66	125
	大粒	ナンブシロメ	7,910	7,770	-140	10
岩手	中粒	ナンブシロメ	7,777	7,964	187	107
	大粒	ミヤギシロメ	8,222	7,374	-848	881
	中粒	ミヤギシロメ	6,899	7,170	272	1,193
	大粒	タンレイ	6,771	6,787	16	914
	大粒	タチナガハ	7,305	7,060	-245	693
宮城	大粒	リュウホウ	6,896	6,829	-67	1,705
	大粒	すずさやか	9,200	9,600	400	44
	中粒	すずさやか	9,221	9,231	10	292
秋田	大粒	エンレイ	6,601	6,769	169	781
	大粒	リュウホウ	6,900	6,590	-310	214
山形	大粒	タチナガハ	7,039	6,480	-559	228
	大粒	タチナガハ	6,789	6,747	-43	531
	小粒	納豆小粒	10,924	19,896	8,972	276
福島	極小粒	納豆小粒	10,947	20,597	9,650	153
	大粒	タチナガハ	7,026	6,859	-166	1,458
	大粒	ナカセンナリ	7,334	8,864	1,530	94
茨城	中粒	ナカセンナリ	6,642	8,860	2,218	330
	大粒	エンレイ	7,219	7,352	133	386
	大粒	エンレイ	6,948	7,759	812	47
栃木	中粒	エンレイ	6,495	6,617	122	83
	大粒	オオツル	7,110	6,936	-174	50
	大粒	エンレイ	7,095	6,939	-156	23
長野	中粒	エンレイ	6,566	6,599	32	239
	大粒	フクユタカ	6,708	6,999	291	1,376
	大粒	フクユタカ	6,698	7,021	324	2,505
新潟	大粒	フクユタカ	6,777	6,986	209	1,455
	大粒	フクユタカ	6,615	6,897	282	465
	大粒	オオツル	7,448	8,132	685	273
富山	大粒	サチユタカ	6,766	6,490	-277	162
	大粒	サチユタカ	-	6,610	-	192
	大粒	サチユタカ	6,850	6,460	-390	172
福井	大粒	フクユタカ	7,139	6,862	-277	2,508
	大粒	フクユタカ	7,202	6,875	-327	2,964
	大粒	むらゆたか	9,380	7,033	-2,347	49
佐賀	中粒	むらゆたか	7,210	6,445	-765	738
	大粒	フクユタカ	7,034	6,832	-202	863
	大粒	フクユタカ	7,031	6,902	-130	163
熊本	大粒	むらゆたか	6,814	6,748	-66	157
	大粒	全国	6,937	7,492	555	48,948

注．各地方ごとに落札数量が比較的多く、代表的な銘柄を表示した。大粒・中粒銘柄については、原則として、大粒を取り上げたが、中粒が大粒より多い銘柄は、大粒。中粒を共に示した。

主要産地品種銘柄のうち、代表的なものの月別落札価格の推移を過年産と比較したグラフを以下に示す。

主に煮豆等に仕向けられる北海道産とよまさりは、前年産よりわずかに高い水準で、豆腐に仕向けられる九州産フクユタカ、新潟産エンレイは、前年産並の水準で推移した。(図1-1-9～11)

図1-1-9 北海道大粒とよまさり（普通大豆）

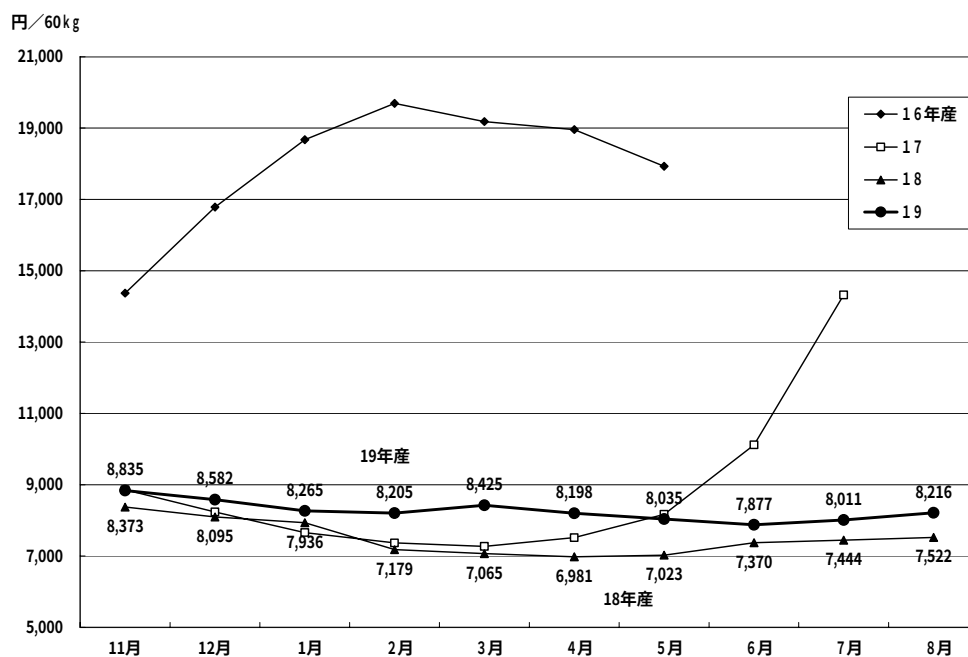


図1-1-10 佐賀大粒フクユタカ（普通大豆）

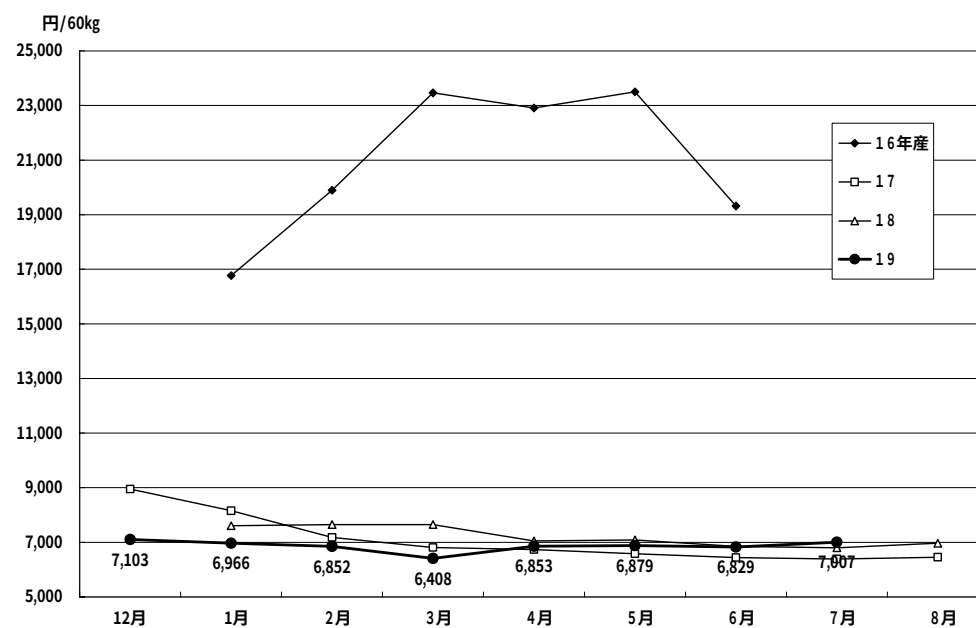
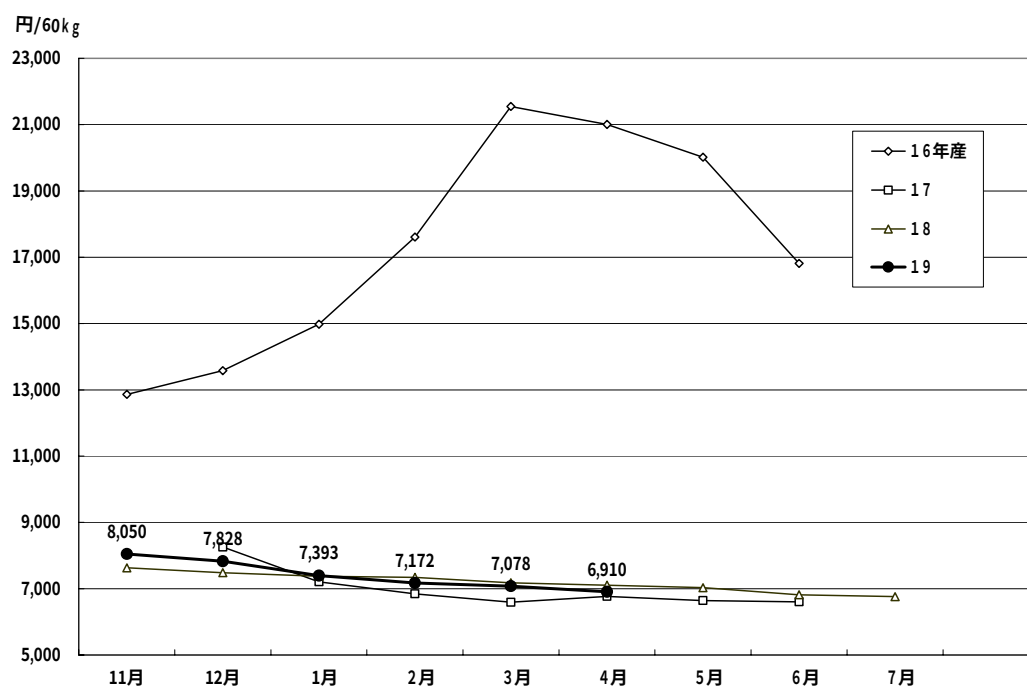


図 1-1-11 新潟大粒エンレイ（普通大豆）



代表的な納豆用銘柄である北海道産スズマルは、月を追って価格が上昇し、茨城県産納豆小粒も短い上場期間ながら、同様の動きであった。（図 1-1-12～13）

図 1-1-12 北海道小粒スズマル（普通大豆）

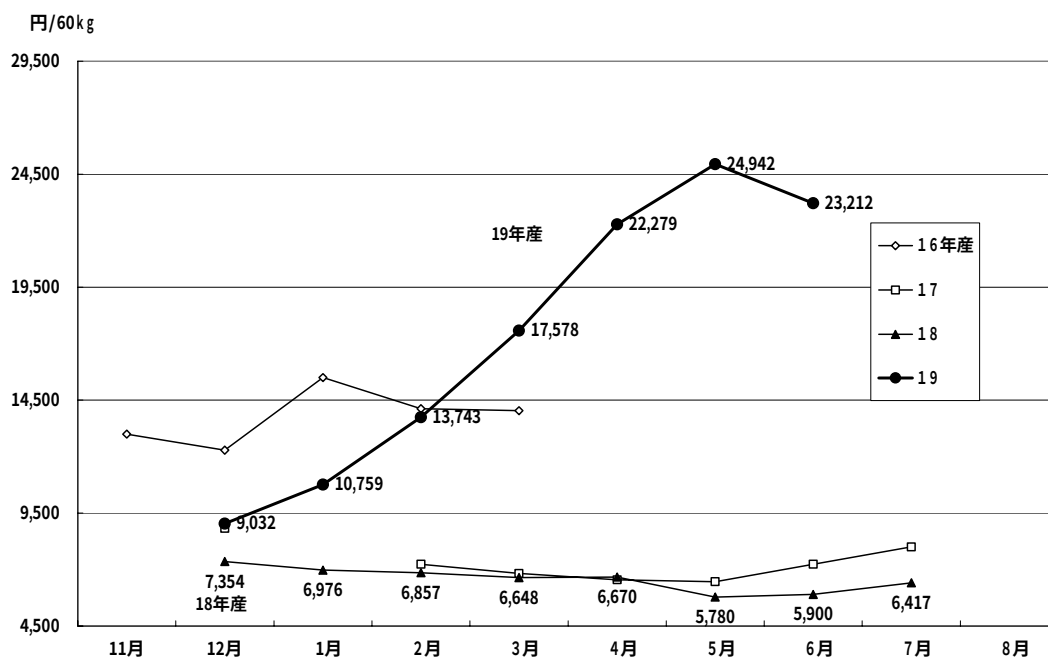
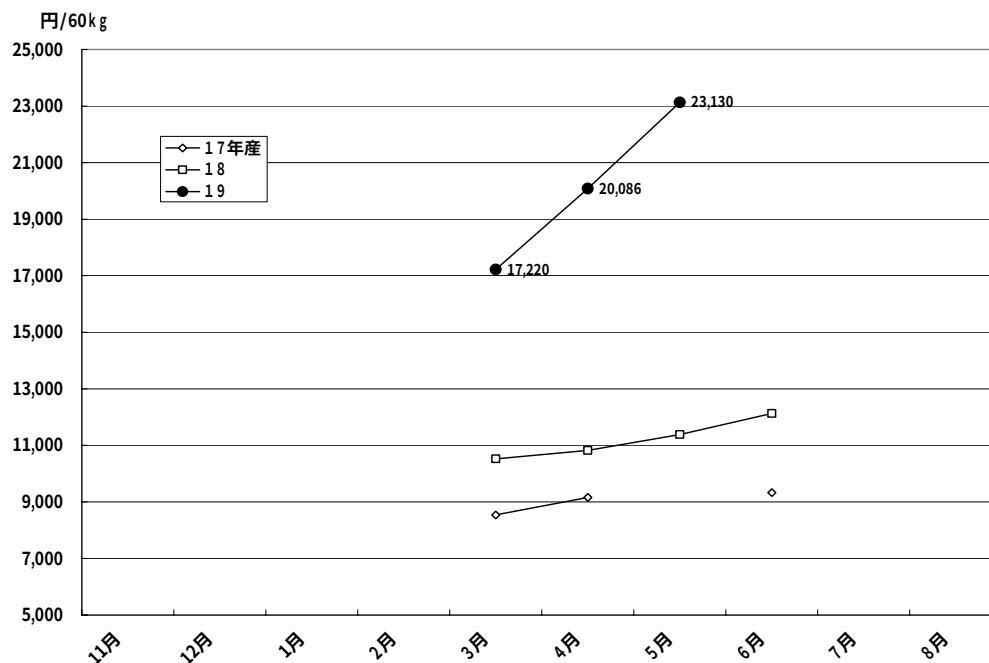


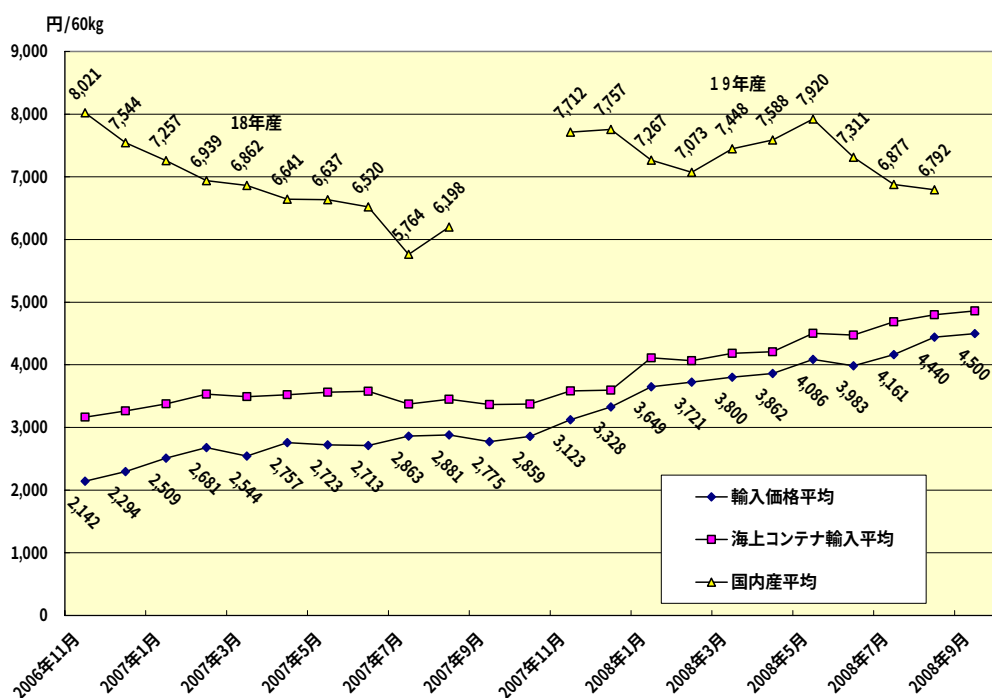
図 1-1-13 茨城極小粒 納豆小粒（普通大豆）



平成19年産大豆の出回り時期は、世界的な穀物価格の高騰した時期と重なったが、内外大豆価格の推移を図1-1-14に示す。

平成19年11月から20年10月までの俵当たり価格の推移をみると、輸入大豆は、3000円から4500円まで上昇したが、国産大豆は納豆用銘柄の上場時期を挟んで一時的に上昇し、その後戻す動きを示した。

図 1-1-14 内外大豆価格の推移



注．輸入価格は、財務省貿易統計による。国内産は、普通大豆、特定加工用大豆を合わせた平均落札価格である。